

会議名	令和2年度 第2回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会
開催日時	令和3年2月26日(金) 午前9時30分～午前10時30分
開催場所	稲沢市勤労福祉会館 3階 第2・3会議室
主催	生涯学習課
議題	◎ あいさつ(教育長・委員長) 協議事項 1 令和2年度主要事業中間報告について 2 令和3年度社会教育目標について 3 その他
資料	別添のとおり
出席者	【委員】 中西千鶴子、山内晴雄、川口清子、恒川なおみ、吉川光彦、定行加保里、栗林芳彦、渡辺香織、福島俊治、加島和典、佐藤あや子、今井一博、島畑総子 ※欠席…河村禎之 【事務局】 (教育長) 恒川武久 (教育部長) 荻須正偉 (生涯学習課) 課長 岩田勝宏、主幹 江頭弘幸・恒川浩、 社会教育指導員 大津隆、主査 曾根洋一 (スポーツ課) 課長 長崎真澄、主幹 内藤邦将 (図書館) 館長 塚本ゆかり、主幹 榎本賢二・三ツ井裕之 (美術館) 館長 山田美佐子、主幹 尾崎登紀子
備考	傍聴者なし

【会議概要】

◎ あいさつ

(教育長)

- ・山内委員長のホタルの会がまた表彰を受けられた。活動にお礼を申し上げる。
- ・はだか祭りが通常ではない形で開催された。これもまた記憶に残るのではないか。
- ・コロナが少し落ち着いてきたが、引き続き気を引き締めて感染対策を続けていく必要がある。
- ・コロナは悪い面もあるが、時代の動きを大きく変える後押しをする面もある。(35人学級、タブレットの全員配布、働き方改革等)
- ・この会議でまたご意見、ご提言をいただき一つ一つ前進していきたい。

(委員長)

- ・コロナについて見直しが進んでいるが目先のことが多いのではないか。
- ・小さい子たちがこの状況が1年2年続いた時、その時に体験できないことができない場合、考え方や感覚にどんな変化が起こっていくのか心配である。
- ・最近、保険証の無い方を病院に入院させるのに大変苦労した。
- ・協議事項の中間報告、目標について総括的な記述であると思うが、具体的な部分にも触れていきたい。
- ・稲沢市の公民館は他市町村と状況が違っている。そう言った背景も含め提言していきたい。

◎協議事項

※議事進行は慣例により委員長

1 令和2年度主要事業中間報告について

※資料1及び資料2について各課から簡潔に説明

(生涯学習課)

【資料1について】

- ・今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、所管施設を4月から5月にかけて臨時休館し、8月までの講座・事業を中止または延期した。

【資料2について】

- ・大里西、稲沢公民館および祖父江生涯学習センターの新築・増築工事が予定通り完成予定である。内覧会、開所の日程について報告。
- ・来年度、生涯学習課に移管される平和町農村環境改善センターの名称変更が課題である。
- ・尾張国分寺跡について現在3件、9筆が未指定で、所有者死亡、相続人無のため現在、県と協議中。

(スポーツ課)

【資料1について】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、体育振興会及びスポーツ協会主催の多くの行事が中止となった。

【資料2について】

- ・主要事業についても同様に、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。

(図書館)

【資料1について】

- ・年度当初から2か月間休館のため、貸出、利用者数については前年度比70%、入館者数は48%に留まっている。
- ・イベント、講座等は相次いで中止、開催したものについても参加者を制限した。

【資料2について】

- ・主要事業については、学校の休校や事業の中止のため、情報提供だけに留まった。

(美術館)

【資料1について】

- ・4月から5月にかけて臨時休館したが、主催の展覧会は開催することができた。
- ・来館者数は減少したが、来年度の会議室の貸出予約は増えてきている。
- ・荻須作品の代表的な2点の美術作品を購入できた。

【資料2について】

- ・荻須の同級生である牛島憲之の作品を展示、また財源としてコミュニティ助成金350万円を確保した。

※質疑応答

(A委員)

- ・生涯学習課の視聴覚教育事業で実績が0なのに普及を図ったという表現はおかしいのではないか。また公民館事業の趣味講座と文化系教室の違いは何か。
- ・スポーツ協会に加盟すると何か良い事があるのか。また市長杯とつく大会はどう違うのか。

(生涯学習課主幹)

- ・表現が不適切なので訂正する。公民館事業については一度整理する。

(スポーツ課主幹)

- ・協会に加盟すると市の施設の優先予約ができ、使用料が半額減免となる。また、協会から助成金が出る。市長杯については、各協会がそれぞれ直接市長に働きかけをしているのでスポーツ課として把握していない。

(委員長)

- ・課として実態を把握しておいていただけるとありがたい。

(B委員)

- ・自分の活動している高齢者のサロンにスポーツ課で出前講座を開くことができないか。

(スポーツ課長)

- ・検討させていただきます。

(C委員)

- ・生涯学習課の視聴覚事業については、誰を対象にするかを考える必要がある。

(生涯学習課主幹)

- ・ビデオ等貸出については図書館もあるので今後事業を整理していきます。

※拍手多数により承認

2 令和3年度社会教育目標について

※資料3について各課より説明

(生涯学習課)

- ・生涯学習の推進、文化芸術の振興、文化財保護、青少年健全育成の推進について説明。

(スポーツ課)

- ・7月から9月にかけて東京2020オリンピック、パラリンピックが開催されるにあたり、市内企業に在籍する選手が出場する競技について、パブリックビューイングで応援する機会を設ける。
- ・大会終了後、出場選手との交流事業を検討している。

(図書館)

- ・各世代ごとにサービスの充実を図り、引き続き感染防止対策に努めていく。
- ・ボランティア活動の再開に向けての支援を行っていく。

(美術館)

- ・荻須高德生誕120年を記念し、全国の美術館から作品を借用して画風の変遷と確立を明らかにする。

※質疑応答

(副委員長)

- ・図書館のブックスタートについて、名古屋市では5冊から選べるが稲沢市はどうか。
- ・埋蔵文化財の発掘について、愛護少年団に見せてはどうか。
- ・埋蔵文化財の展示施設の建設について検討しているか。

(図書館長)

- ・予算の関係で名古屋市のように難しい、ご理解いただきたい。

(生涯学習課長)

- ・埋蔵文化財発掘の現地見学会について検討していきたい。
- ・整備していく中でガイダンス施設の建設を計画しており、その中に資料館的なものができればと考えている。

(A委員)

- ・学校運営協議会の現在の状況について伺いたい。

(生涯学習課長)

- ・地域本部の立ち上げに至っていない。地域と学校を繋ぐ人材を探していく。

(教育長)

- ・重要な課題と捉えているが、まだ組織建てができていない。人材の確保が必要である。地域にバラツキがあり一律にいかない、もう少し時間がかかるので温かく見守っていただきたい。

※拍手多数により承認（後日、定例教育委員会に報告）

3 その他

- ・栗林委員に県社連西尾張支部長から感謝状の贈呈

◎ あいさつ

(教育部長)

- ・慎重なご審議ありがとうございました。
- ・令和3年度の社会教育目標を柱に新年度の事業を進めて参ります。
- ・2年の任期の最後の会議となりますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

<午前10時30分閉会>